

愛されて、響きあって、24年。

TOYOTA COMMUNITY CONCERT
第1133回

ホットアート2005 市川文化祭
第316回 市響 ファミリー交響楽コンサート

楽しくきこう
私の街のオーケストラ

ヴォーン=ウィリアムス

「グリーンズリーヴズ」による幻想曲

ブリテン

青少年のための管弦楽入門

—パーセルの主題による変奏曲とフーガー—

ブルッフ

ヴァイオリン協奏曲 第1番

独奏：神保聡子

R.シュトラウス

歌劇「ばらの騎士」組曲

指揮：新通英洋

管弦楽：市川交響楽団

<http://www33.ocn.ne.jp/~ichikyoo/>

2005年12月11日(日)
市川市文化会館 大ホール

主催：市川市・市川交響楽団協会
協賛：千葉県トヨタ販売会社グループ・トヨタ自動車株式会社
協力：(社)日本アマチュアオーケストラ連盟

本日のプログラム

ヴォーン=ウィリアムス 「グリーンズリーヴズ」による幻想曲

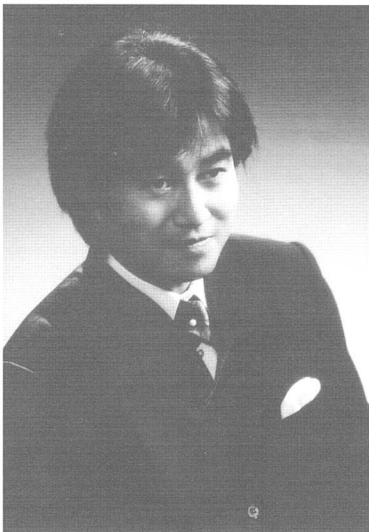
ブリテン 青少年のための管弦楽入門
—パーセルの主題による変奏曲とフーガー—

*

ブルッフ ヴァイオリン協奏曲 第1番

R.シュトラウス 歌劇「ばらの騎士」組曲

指揮



新通英洋 (しんどおり・ひでひろ)

武蔵野音楽大学大学院修了後、桐朋学園大学で指揮を高階正光、尾高忠明、秋山和慶、黒岩英臣、小澤征爾の各氏に師事。91年モスクワ国立音楽院にてV.シナイスキー、L.ニコライエフの両氏に師事。94-95年英国ロイヤルオペラハウス、イングリッシュ・ナショナルオペラ等において数々のリハーサルで研修。またBBCウェールズ交響楽団において尾高忠明氏に就いてさらに研鑽を重ねた。95年第5回フィテルベルク国際指揮者コンクールにおいて第2位、さらに特別賞としてグレッキ賞も授与。翌96年ポーランドラジオ放送に招待されワルシャワ・デビュー。

「ユニークかつ軽妙で歌心に溢れた音楽は聴衆の熱い支持を得ていた」と高く評価された。協奏曲においても意欲的で横山幸雄氏のショパンピアノ協奏曲全曲演奏会に読売日響と共演したほか、ギル・シャム、エフゲニー・モギレフスキー、高橋多佳子、田部京子をはじめとする多くのソリストたちと共演。それぞれの独奏者からの信望も厚く、温かい賛辞を寄せられている。

これまでに群馬交響楽団、札幌交響楽団、東京交響楽団、東京フィル、名古屋フィル、日本フィル、読売日本交響楽団、ポーランド国立シレジアフィル、シンフォニア・ヴァルソヴィア等で指揮。

05年1月に豊田市コンサートホールでの喜歌劇「こうもり」公演を成功に導いたほか、9月には梅若六郎氏による能「隅田川」とともに上演された同氏演出による歌劇「カーリユー・リヴァー」を指揮し各方面からの好評を博す。最近ではクラシック音楽を身近に感じられるようなコンサートの企画や音楽をめぐるレクチャーまた講演でもその勤勉ぶりを発揮。

愛知県立芸術大学、徳島文理大学、上越教育大学大学院非常勤講師を歴任し音楽教育の分野でも活躍を見せている。

管弦楽

市川交響楽団 (いちかわこうきょうがくだん)

本年創立53周年目を迎えるアマチュアとしては全国有数の伝統を持つオーケストラ。

メンバーは現在100余名で年齢構成は20代から70代までの幅広い層にわたり、職業も会社員、教員、主婦など多彩。地元市川市での演奏会を中心に全国各地での文化行事やオーケストラ・フェスティバル等にもしばしば招かれ演奏を披露している。また、著名な音楽家との共演も数多く経験しているほか、特に地元ゆかりの音楽家との共演にも力を注ぎ、地域の音楽芸術の振興に多大な貢献をしている。

市川交響楽団は市川混声合唱団、市川交響吹奏楽団、行徳混声合唱団、市響ジュニアオーケストラの各団体とで構成する市川交響楽団協会の中核として「クラシック音楽をより多くの市民に楽しんでもらおう」をモットーに常に積極的な活動を展開している。

ヴァイオリン・ソロ

神保聡子 (じんぼ・さとこ)

2000年市川市文化会館第13回新人オーディション最優秀賞受賞、同演奏会出演。同年芸大室内楽定期演奏会に出演。2001年YBP国際音楽コンクール第3位受賞。同年モーニングコンサートで芸大オーケストラと共演(ヴェニシアフスキー)。2003年旧奏楽堂木曜コンサートに出演。同年第2回名古屋国際音楽コンクール愛知県知事賞受賞。2004年第14回原村室内楽セミナーにて最優秀賞の緑の風音楽賞受賞。

2001年より別府アルゲリッチ音楽祭特別オーケストラに参加。

市立船橋高校、東京芸術大学を経て同大学院在籍中。清水高師氏に師事。

現在、アメリカのSMU (Southern Methodist University) に留学中。Eduard Schmieder氏に師事。



ナレーター

鈴木珠美 (すずき・あけみ)

国立音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。ピアノを故クロイツァー豊子、篠井寧子、村松庸子の各氏に師事。

国立音大同調会千葉支部コンサート、市川市文化会館新人演奏会にて新人演奏。家永音楽事務所ピアノ・オーディション合格。同事務所主催で、サントリー小ホール、津田ホールにてジョイントリサイタル出演。

故村上正治先生の指導下より、市川混声合唱団、行徳混声合唱団にピアニストとして参加。市川交響楽団とはモーツァルト「ピアノ協奏曲第21番」、グリーグ「ピアノ協奏曲」をソリストとして共演するほか、ストラヴィンスキー「ペトルーシュカ」等のピアノも担当している。

【コンサートマスター】

立田 祥子

富田 八江子

永田 匡

深沢 武夫

松橋 冴子

溝田 範子

吉岡 一郎

【第一ヴァイオリン】

上田 佳津子

大橋 一郎

大村 雅子

笠松 秀臣

亀井 玲子

小林 吉範

鈴木 薫

根守 弘和

秦 一宜

松岡 寛親

【ビオラ】

浅野 さとみ

石本 恵理

内田 綾美

大橋 かおる

小名 康仁

津森 真由実

奈良林 弘子

若林 繁

小松 高明

田頭 扶

中村 公一

野中 能久

日澤 優

福原 耕二

【コントラバス】

足利 直子

上村 啓介

神代 順子

金子 豊

菊池 克彦

小西 祐作

小林 真弓

星野 紫穂

【オーボエ】

深町 和良

二村 直子

本間 広樹

【クラリネット】

一瀬 直美

時田 雄

山本 聡

八木 良子

【ファゴット】

伊吹 直子

遠藤 由紀子

大矢 哲雄

菅原 斉

潮見 尚宏

林田 朋子

藤井 茂司

山内 正晴

【トランペット】

酒井 崇行

武井 出宏

西岡 宏

【トロンボーン】

新井 恵美

上田 浩平

坂田 圭

佐野 義人

藪崎 裕至

【打楽器】

大澤 香奈

神戸 美貴

鈴木 充

田中 康信

都筑 裕

春田 美穂子

武藤 直子

【ハープ】

小橋 ちひろ

依田 かおり

【チェレスタ】

鈴木 珠美

【チェロ】

岩田 理人

大塚 啓子

倉沢 倫子

【フルート】

木村 眞論紀

佐藤 洋行

篠原 梨恵

【ホルン】

木下 泰斗

近藤 利昭

潮見 恵子

【チューバ】

渡邊 鉄雅

【第二ヴァイオリン】

上原 佐貴絵

大野 道夫

大村 光子

鎌田 真貴

佐分利 幸江

プログラム・ノート

市響 ファミリー交響楽コンサート「楽しくきこう私の街のオーケストラ」へようこそ！

私たち市川交響楽団は、毎年冬のシーズンを「ファミリー交響楽」と題して幅広い市民の皆様にわかりやすい名曲の数々をお届けしていますが、今年はそのスペシャル！オーケストラの楽器それぞれの音色をぞんぶんに楽しんでいただく企画です。どうぞリラックスしてお聴きください。

前半の2曲はイギリスの作曲家によるもので、共に昔の旋律でできています。

後半の2曲はドイツロマン主義の魅力たっぷりの曲です。

ヴォーン=ウィリアムス／「グリーンズリーヴズ」による幻想曲

弦楽合奏にフルートとハープをくわえた編成による、古き良き時代の懐かしさを感じるメロディの名曲です。

この曲はヴォーン=ウィリアムスが1928年に完成した歌劇「恋するサー・ジョン」の間奏曲を独立させた作品で、「グリーンズリーヴズ」とは、緑の着物を着た浮気な女性を歌った16世紀末の民謡です。

レイフ・ヴォーン=ウィリアムス（1872～1958）は、イギリスの作曲家で、ロンドンの王立音楽院で作曲を学び、そこで「惑星」で有名な作曲家ホルストと大の親友となりました。ヴォーン=ウィリアムスはイギリス民謡を採集する研究から、いわゆる現代音楽ではなく、イギリス民謡に根差した作風をつくり、イギリス音楽を復興させた立て役者の一人として、今でも広くイギリス国民に愛されています。

他に代表作として、映画「南極のスcott」のための音楽をもとにした南極交響曲や、珍しいチューバのための協奏曲、吹奏楽のために書かれたイギリス民謡組曲などが知られています。

ブリテン／青少年のための管弦楽入門 —パーセルの主題による変奏曲とフーガー—

その名の通り、オーケストラの楽器の音色をわかりやすく説明した曲です。

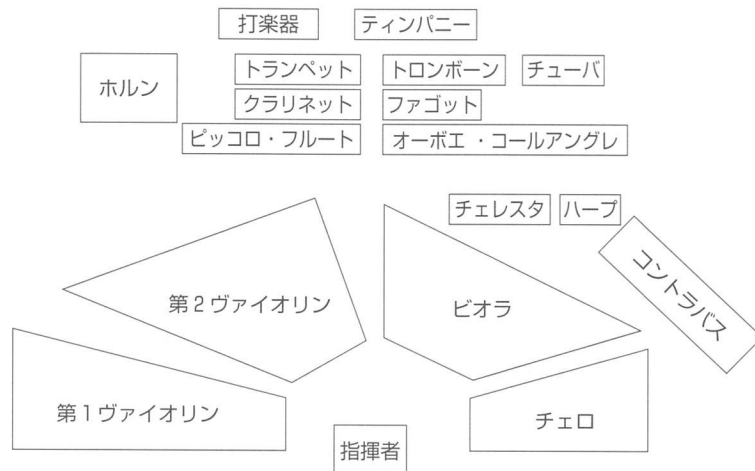
この曲は17世紀イギリスで活躍したヘンリー・パーセル作曲の歌劇「アプデラザール」に出てくるロンドをもとに書かれています。まず近代管弦楽にアレンジされた主題を全体合奏と各楽器群により示し、続けて各楽器の良さを引き出せるように変化させる変奏曲が演奏されます。続くフーガーでは変奏曲で紹介された順に各楽器が同じメロディを次々と演奏し、重なっていき、最後には再びパーセルの主題が現れクライマックスを迎えます。

普通の曲ではなかなかお目にかからない、打楽器が主役になる合奏部分も聴きどころです。この曲で使われる打楽器は、ティンパニー、シンバル、トライアングル、大太鼓、小太鼓、銅鑼、タンバリン、シロフォン、チャイニーズ・ウッドブロック、カ斯塔ネット、ムチです。

ヴォーン=ウィリアムスの40歳下のベンジャミン・ブリテン（1913～1976）も、同様に、いわゆる現代音楽ではなく、ハーモニーの進行をうまく利用した作曲で、イギリス音楽の魅力を世界に広めた作曲家であるといっても過言ではありません。

他に代表作として、歌劇「ピーター・グライムズ」やシンプル・シンフォニー、戦争レクイエムなどがあります。

本日のオーケストラのならびかた



ブルッフ／ヴァイオリン協奏曲 第1番

ロマンティックなメロディにあふれるヴァイオリンの調べをご堪能ください。

ブルッフが28歳のときに書いたこの曲の前奏曲と名づけられた第1楽章はティンパニーのロールで始まり、続く木管楽器が過去を回想するかのようなフレーズのあと、ヴァイオリンのカデンツァが始まります。力強い第1主題と情緒的な第2主題が対照的な魅力を出しています。とぎれずに続く第2楽章は、3つの主題が組み合わされた歌の楽章です。第3楽章はフィナーレと書かれたエネルギッシュで生き生きとしたメロディで、ヴァイオリンのダブル・ストップ（重音奏法）が心地よい響きです。

マックス・ブルッフ（1838～1920）はケルンに生まれベルリンで没したドイツの作曲家で、合唱曲を得意にし美しい旋律を多く残していますが、ユダヤ人であった為、1935年ナチスによって演奏禁止となり、それが原因か、今日でも彼の曲があまり演奏されないのはとても残念です。

R.シュトラウス／歌劇「ばらの騎士」組曲

ロマンティックなメロディ、心躍らされるワルツのリズム、オーケストラの楽器が絡み合い、重なり合うサウンドを存分にお楽しみ下さい。

マリア・テレジア（1717～80）統治下のウィーンでの話。ばらの騎士とは婚約のしるしとして銀のばらを届ける使者のことで、台本作家のホフマンスタールの創作によるものです。

今回演奏する組曲版は指揮者ロジンスキーによりストーリーの順序とは関係なしにつなげられたもので、切れ目なく演奏されます。

曲は第一幕（元帥夫人の寝室にて）の序奏から始まります。夫が泊りがけで狩りに出かけている間、元帥夫人マリー・テレーズ（32歳以下）と17歳の青年貴族オクタヴィアンとの愛の一夜を表した音楽で、出だしのホルンは若さあふれるオクタヴィアンを表しています。

オクタヴィアンはマリー・テレーズの命で無作法な田舎貴族オックス男爵（35歳位）の婚約のためにばらの騎士となり、ファニナル家の婚約に銀のばらを届けます。オクタヴィアンはそこでオックス男爵花嫁になるゾフィーと出会います。つぎの第二幕（ファニナル家の広間にて）の二重唱は、オクタヴィアンとゾフィーお互いの愛の始まりを歌うものです。

続くワルツはウィーン情緒あふれた名作で、甘くせつないメロディがセクシーです。

そしてこの曲の最大の聴きどころがそのあとに続く第三幕（いかがわしい料理屋の個室にて）の三重唱（元帥夫人、オクタヴィアン、ゾフィー）です。元帥夫人はオクタヴィアンがゾフィーと愛し合い始め、自分から去ろうとしていることに気づき、オクタヴィアンは二人の女性のあいだに挟まれ当惑し、ゾフィーは元帥夫人とオクタヴィアンの関係を知りつつも、オクタヴィアンへの愛を募らせる。この三重唱はシュトラウスが自身の葬儀で演奏するように遺言し、実際に葬儀で演奏されました。元帥夫人は二人を祝福しつつ去り、それすら気づかずに愛を誓い合う若い二人の二重唱から、最後は華やかなウィーナワルツで終わります。

曲中で銀のばらのモチーフが何回か出てきます。どれだか探しながらお聴き下さい。

リヒャルト・シュトラウス（1864～1949）はドイツの後期ロマン派を代表する作曲家で、父はミュンヘン宮廷歌劇場の首席ホルン奏者、母はミュンヘンの有名なビール醸造業者の娘でした。

他に代表作として映画「2001年宇宙の旅」で使われ有名になった「ツァラトストラはこう語った」など一連の交響詩があります。また、当時の日本政府の委嘱で「日本建国2600年祝典曲」という曲も作曲しています。市響は最近では2002年に今回と同じ新通英洋氏の指揮で「四つの最後の歌」を演奏しています。

また、指揮者としても名高く、そのスマートな指揮ぶりや音楽解釈は今でも復刻版のCDやDVDで聴くことができ、弟子にカール・ベームやジョージ・セルがいます。

また意外な面として、シュトラウスは音楽著作権擁護運動を行い、「出版社の権利は出版社に。著作者の権利は著作者に。」という名言を残し、ドイツ音楽著作権協会の創始者ともなりました。

蛇足ながら、同じシュトラウスでも、ワルツ王ヨハン・シュトラウス二世とその一族とは全く親戚関係はありません。

(by カーネル)